

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立久喜北陽高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	単位制・進学型総合学科という学校の強みを踏まえ、今年度見直しが図られている。学校の置かれた現状や課題を的確に把握した上で、より明快かつ具体的な学校像を模索していただくと良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が三つの柱として設定されているので、学校の置かれた状況などを把握した上で、目指す学校像の実現に向けての中期的な目標となるように、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌・年次等が連携しながら、目標達成を目指す体制を取ろうとしている。評価項目が、年度の達成目標としては分かりにくいので、明確かつ重点化された目標となるように工夫するとともに、分掌・年次間の更なる連携を図り、よく議論しながら、それぞれが共通したより具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画を促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	PTAのサポーターバンクへの登録を呼びかけ、「スペシャリストに学ぶ」事業に活用するなど、地域や保護者との協働について先進的な取組が行われている。方策や評価指標が抽象的なものもあるので、評価項目の達成に向けた具体的な方策を策定し、教職員間でその達成イメージが共有できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。学校関係者の意見やアンケート結果等を詳細に分析して新たな課題の析出や方策の見直しを検討するなど、次年度のより具体的な取組につなげ、スパイラルアップを図るようにしていただきたい。	
特記事項			